

ジュニア・レポート Vol.3

石川県志賀町立志賀小学校
実施日：2018年5月11日（金）

学校紹介

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー学校訪問の石川県での訪問先は、能登半島の中央にある志賀町立志賀小学校。



2018年5月11日、全校児童622名の小学校に、フラッグを持ってきたのは、リオデジャネイロ2016オリンピックのレスリング57キログ級銀メダリストの樋口黎（ひぐちれい）さんです。

樋口さんは日本体育大学に在籍しており、志賀町と日本体育大学が「体育・スポーツ振興に関する協定」を結んでいることから、今回、志賀町に来ていただきました。

志賀小学校の6年生の3名にジュニア・レポーターとして、志賀町の紹介や樋口黎さんにインタビューをしていただきました。

自己紹介



6年1組の平野洸志（ひらのこうし）（右から1番目）です。僕はバスケットボールをやっています。

6年2組の鍋島琴美（なべしまことみ）（左から1番目）です。私は英語を習っています。

6年3組の白井佑京（しらいうきょう）（右から2番目）です。僕は野球と英語を習っています。

志賀町について

志賀町は「ころ柿」が有名です。ころ柿は柿を干したものでとっても美味しいです。それから、自然が豊かで、空気が澄んでいます。海も近いので海の幸がたくさん獲れるのも町のよいところです。

マスコット投票について



（平野）僕のクラスの1組は「ア」を投票しました。自分たちのクラスが投票したのが選ばれてうれしかったです。

樋口黎さんの印象について



（平野）今日のお話を聞いて、野菜が苦手というのがちょっと意外でした。僕はどちらかというと好きな方です。
（鍋島）これまであまりオリンピック関係のテレビ番組を見たことがありませんでしたが、今日の樋口さんの話を聞いて、これからはもっと見ようと思いました。

樋口黎さんへの質問

（平野）一番好きな食べ物は何ですか。

（樋口）「マカロン」というお菓子が一番好きです。

（鍋島）レスリング以外で小さいころからやっていることはありますか。

（樋口）レスリング以外に取り組んできたものはないのですが、音楽が好きなので息抜きにギターを弾いています。

（白井）引退はいつ頃ですか。

（樋口）難しい質問ですね。自分が何かやり切ったと思った時だと思います。その後も、スポーツに関わっていきたいと考えています。

東京2020大会に期待すること

（平野）できれば、ボランティア活動をしてみたいです。

（鍋島）東京2020大会が始まって、樋口黎さんや他に知っている選手が出たら、是非見てみたいです。

（白井）日本選手が全種目でメダルを取って、日本が盛り上がってほしいです。